

引き続き感染予防策を徹底してください

7月に入り、県内でも新型コロナウイルスの新たな感染者が増加し、感染地域が拡大しています。7月21日、広島県知事は第2波を防ぐために「感染拡大に対する警戒強化宣言」を発出しました。

引き続き感染予防策（マスクの着用、小まめな手洗いなど）を徹底するとともに、体調がすぐれないときは早めに医療機関を受診すること、感染リスクが高い地域への移動や施設の利用は控えること、「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」を活用することなどをお願いします。

「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」とは

「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」は、厚生労働省が開発したスマートフォンアプリです。新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受けることができます。

陽性者と接触した可能性を知ること、検査などの保健所のサポートをいち早く受けることができるため、利用者が増えることで、感染拡大防止につながることを期待されます。

自分や大切な人を守るためにも、アプリの活用をお願いします。

※「いつ」「誰と」接触したか互いに分からないよう、プライバシーは確保されます。

「COCOA」の特徴

- ・おおむね1メートル以内・15分以上接触した人を記録（過去14日分）
- ・記録を基に陽性者との接触の可能性を通知
- ・アプリの指示に沿って自身の症状などを選択すると
帰国者・接触者外来などの連絡先が表示され検査の受診などを案内



「COCOA」のトップ画面



◀「COCOA」についての
詳細はこちら
(厚生労働省ホームページ)



◀iPhoneの方はこちら
(App Storeから
ダウンロード)



◀Androidの方はこちら
(Google Playから
ダウンロード)

安心・安全な毎日のために

2020年度

全国統一防火標語



その火事を

防ぐあなたに 金メダル

火の取り扱いに注意しましょう

お盆を迎えるこれからの時季は、花火や墓参りなど、火を使用する機会が多くなります。そのため、例年「ろうそくの火が建物や衣服に燃え移った」「打ち上げ花火が屋根の隙間に落ち、火災になった」「消したはずの火が再燃して燃え広がった」などの火災が発生しています。

また、庄原消防署管内では、たき火（ごみ焼き、枯草焼きを含む）を原因とした火災が最も多く発生しています。

あぜや空き地の刈り草の焼却にも十分注意し、楽しいお盆をお迎えください。

屋外での防火対策チェック

- ▼近くに燃えやすい物はありませんか？
- ▼水バケツなど消火用具を準備していますか？
- ▼火を付けたままその場を離れていませんか？
- ▼火が確実に消えたことを確認していますか？

庄原消防署 ☎0824・72・9911
東城消防署 ☎08477・2・4005

9月1日は「防災の日」

「防災の日」は、一人一人が災害についての知識を深め、災害に対する心構えと準備をする日です。

「数十年に一度」といわれているような災害が、今では毎年のように日本各地で発生しており、いつ自分が被災してもおかしくありません。被災して初めて、準備の大切さに気付くことがないように、「防災の日」を機に、いま一度「防災」について話し合い、準備をしておきましょう。

災害への備え 2つのポイント

- 「自助」自分で助ける
 - ▼食料・常備薬・日用品などの備蓄
 - ▼家具などの転倒・転落防止
 - ▼家族間の連絡や避難の確認
- 「共助」共に助け合う
 - ▼近所の助け合い関係の構築
 - ▼地域の防災訓練に参加

備北消防公式 YouTube チャンネルを開設しました

業務内容や市民の皆さんに役立つ情報などを、随時投稿していく予定です。ぜひご覧ください！

公式YouTubeチャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCve-UbaxaU7hflh9bR71w

